

地域の医療・介護関係者の皆様には、日頃より当センターの運営および在宅医療・介護連携推進事業に多大なるご協力をいただき、心より御礼申し上げます。この度、当センターの取り組みや多職種協働の情報を共有するため、広報紙「伊達さぼ連携ひろば」を発行する運びとなりました。本誌を通じて「顔の見える関係」をさらに深め、地域の連携力向上に貢献できるよう努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

Topic 01 第2回 医療介護多職種連携研修会を開催

令和8年6月17日（水）18時30分～伊達市保原市民センターにて開催いたしました。総勢107名の参加者にお集まりいただき、「透析中止・意思決定を支える」をテーマに個人・グループワークを行い、とても熱量のある活発な意見交換の場となりました。また、劇団「だてな暮らし」も登場！寸劇を通じて、より現実的な思考で、向き合えた時間になったのではないかと思います。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました！



ネガティブ・
ケイパビリティ
とは？

研修会の冒頭講義の中で「ネガティブ・ケイパビリティ」について、伊達さぼ：志賀センター長より紹介がありました。

「結論を急がず、不確実な状況やモヤモヤを受け止め、耐え抜く力が大事になってくる。その上で患者様・ご家族にどう寄り添うかが重要なのではないのでしょうか」

Topic 02 わたしのカルテがリニューアル

伊達地方版（1市3町）に生まれ変わりました！

手帳型「わたしのカルテ」ですが、令和8年度より伊達地方版にリニューアルされました。各自治体より、対象者（主に75歳以上の地域住民）へ交付されます。ACP（私の思い）に関する項目がより具体的な設問として追加されました。



Topic 03 伊達さぼ「出前講座」スタート

地域住民を対象とした「ACP普及啓発活動」

地域のサロン等へ出向き、「わたしのカルテ書き方講座」や「もしバナゲーム体験講座」を今年度より実施します。詳細については、伊達さぼまでご連絡ください。

もしバナゲームとは、カードを使って「もしもの時、残りの人生で大切にしたいことを考える、伝える」ゲームです。繰り返し行うことで、自分が最も大事にしている価値観と出会えます。



Topic 04 相談事業 令和8年度 4月～7月時点の受付件数「16件」

これまで主に居宅介護支援事業所や地域包括支援センターより「在宅医療」や「受診」、「ケアマネジメント」に関する相談を受けつけています。伊達さぼでは相談事を受け止めた後に、一緒に考えるスタイルで対応しております。「こんなこと聞いていいのかな…」と悩んだ際は、是非1度お電話ください！1つ1つの相談が、私共の学びにも繋がります。



＜＜相談事例一部紹介＞＞

- ✓ 呼吸器管理が必要な患者様の在宅医を紹介してほしい。（MSW）
- ✓ これまで病院に通院していない方へ、往診可能な病院や医師を紹介してほしい。（保健師）
- ✓ 受診につながらない方へどう説明すれば良いか、相談にのってほしい。（ケアマネ）
- ✓ 急に家族が倒れて入院した、今後のことを考えたいので、相談にのってほしい。（地域住民）

Topic 05 地域住民への普及啓発事業 健康・終活講座「映画上映会」を開催

地域住民を対象に、令和7年3月27日（金）14時～16時に地域住民向け健康・終活講座と題して、「痛くない死に方」の映画上映会を伊達市立梁川小学校（講堂）で開催し、伊達地方から158名の方が参加されました。今回の映画上映会を通じて、多くの皆様と『人生会議（ACP）』について考える貴重な時間を共有できたと感じます。「継続的に開催してほしい！」との声も多く聞かれましたので、企画検討をしていきます。

令和7年度 伊達地方在宅医療・介護連携推進事業
地域住民向け健康・終活講座 映画上映会

人間を好きになれ

「病院」だって「在宅」だって、それを動かすのは人。病という対象物としてだけでなく、人が人を看取るということを見据えたら、死を目前に「選択」の嵐が訪れる時、何を最も大切にしたいのか？そこを見据えていければ、最期まで、その人らしく生きることができると、この映画は囁いてくれる。

内田也哉子（エッセイスト）

監督 脚本 高橋伴明 原作 長尾和宏

在宅医と患者と家族の物語

痛くない死に方

参加無料

（上映時間 112分・日本語字幕あり）

日時：令和8年3月27日（金）14:00～16:00（受付13:30～）
場所：伊達市立梁川小学校 講堂（伊達市梁川町字北本町21-1）
対象：伊達市、桑折町、国見町、川俣町に住んでいる方（200名 先着順）
主催：伊達市 桑折町 国見町 川俣町 伊達医師会
伊達地方在宅医療・介護連携支援センター（伊達さぼ）
共催：福島県在宅医療・介護連携支援センター

Topic 06 伊達地方版「介護施設一覧表」を作成

令和7年度版

伊達市・桑折町・国見町・川俣町

伊達地方
介護施設一覧表

発行：伊達地方在宅医療・介護連携支援センター
024-563-3726

1 高齢者向け住まい選びの視点

「そろそろ一人暮らしが不安」「退院後の生活が心配」…。そんな時、伊達地方には多くの選択肢があります。住まい選びの際は、以下の3つの視点を持つと整理しやすくなります。

① 費用はどのくらいか？（P5参照）
② どんな生活を希望するか？（P3サービス診断参照）
③ 生活のどの面で介護を必要とするか？（各施設の施設ポイント参照）

2 あなたにぴったりの住まい・サービス診断

下のスタートから、現在の状況に合わせて進んでみてください。

スタート

自宅での生活に不安を感じるようになった

まだ元気が、将来が不安

いいえ

はい

介護が必要になってきた

できる限り、今の自宅で暮らしたい

いいえ

施設への入居を考えたい

認知症の症状があり、少人数で暮らしたい

いいえ

遠距離などで、リハビリをして自宅復帰を目指したい

いいえ

常に手厚い介護が必要（介護3以上）で、費用も抑えたい

はい

いいえ

A 自立・軽度向け住まい
ササ住、
軽費老人ホーム（ケアハウス）

F 小規模多機能型居宅介護
看護小規模多機能型居宅介護

B グループホーム

C 介護老人保健施設 市保

D 介護老人福祉施設 市保

E 民間施設 有料老人ホーム
ササ住

この度、伊達地方内にある宿泊を伴う施設情報を1冊の冊子にまとめました。医療機関のMSWからは「自地域以外の退院調整時にとても役立つ」声や地域包括支援センターからも「住まいを選らぶ際に、ご本人等へ利用料金の目安も含めた説明ができるため、普段から活用しています」との声がかけられています。

また、地域住民の方が手にとってわかるように、やさしい表現で作成しました。定期的に情報を更新し、皆様に役立つ情報として、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

伊達地方在宅医療・介護連携支援センター（愛称：伊達さぼ）

〒960-0612 福島県伊達市保原町字宮下111-2 保原町産業会館 伊達医師会内

【相談日時】 平日 8時30分～17時15分

TEL：024-563-3726 FAX：024-563-3762

【相談対象】 医療・介護・福祉関係者

（原則、一般住民の方のご相談は地域包括支援センターへお繋ぎします）



ホームページ